

六道

JJ1SXA/池

皆さんご存知の六道山公園、小沢ポイントとしても、240 には大事な場所です、「六道山公園」の命名の由来を調べて見ましたが、検索には引っかかりません、何方かご存知でしたら教えて下さい。

仏教では、迷い人達が輪廻転生を繰り返すと説き、迷いある世界を6つに分けていて、それは、天道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道の「六道」で、輪廻を空間的事象、あるいは死後に趣く世界ではなく、心の状態として捉える。

たとえば、天道界に趣けば、心の状態が天道のような状態にあり、地獄界に趣けば、心の状態が地獄のような状態である、と解釈される。

天道は天人が住まう世界である、天人は人間よりも優れた存在とされ、寿命は非常に長く、また苦しみも人間道に比べてほとんどないとされる。

人間道は人間が住む世界であり、四苦八苦に悩まされる苦しみの大きい世界であるが、苦しみが続くばかりではなく楽しみもあるとされる。

また、唯一自力で仏教に出会える世界であり、解脱し仏になりうるといふ救いもある。

修羅道は阿修羅の住まう世界である、修羅は終始戦い、争うとされる、苦しみや怒りが絶えないが地獄のような場所ではなく、苦しみは自らに帰結するところが大きい世界である。

畜生道は牛馬など畜生の世界である、ほとんど本能ばかりで生きており、使役されなされるがままという点からは自力で仏の教えを得ることの出来ない状態で救いの少ない世界とされる。

餓鬼道は餓鬼の世界である、餓鬼は腹が膨れた姿の鬼で、食べ物を口に入れようとすると火となってしまう餓えと渇きに悩まされる。

他人を慮らなかつたために餓鬼になった例がある、旧暦 7 月 15 日の施餓鬼はこの餓鬼を救うために行われる。

地獄道は罪を償わせるための世界である、地獄とは仏教における世界観の 1 つで最下層に位置する世界、一般的に、大いなる罪悪を犯した者が死後に生まれる世界とされる。

六道から話題変わって、かつて、240 に出ていた OM・JI1〇〇〇(当時は、数珠問屋の営業マン)に教わったのですが、人間には 108 の煩惱があるので、念仏を唱えながら玉を 1 個ずつ繰り、煩惱を振り払うのに使う数珠の玉の数は 108 が基本、短くした物でも、54 個の数珠は 2 回り、36 個の数珠は 3 回り、27 個では 4 回り、18 個は 6 回り、9 個は 12 回り繰れば、108 になります、それ以外の数の数珠は無いそうです、ちなみに、除夜の鐘は 108 回ついて煩惱を追い払うとされています。

(数珠の話は以前の記事で書いたことがあるかも知れません)